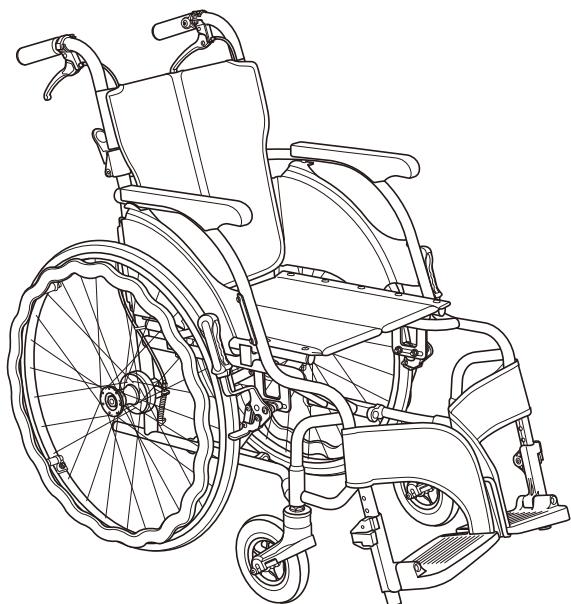


CRT-SGシリーズ

取扱説明書

自走型	CRT-SG-1/CRT-SG-1-CZ CRT-SG-3/CRT-SG-3-CZ CRT-SG-5/CRT-SG-7 CRT-SG-9/CRT-SG-9-CZ CRT-SG-7Hi CRT-SG-3B
介助型	CRT-SG-2/CRT-SG-2-CZ CRT-SG-4/CRT-SG-4-CZ CRT-SG-6/CRT-SG-8 CRT-SG-10/CRT-SG-10-CZ



はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。
使用者の身体の状況・環境の変化に合わせて、必要なときに本書をお読みください。

目次

はじめにご確認ください	2
使用目的・特徴	2
安全上のご注意	3
各部のなまえ	7
使いかた	8
ブレーキのかけかた	8
車いすの開きかた／たたみかた	10
インナーシートの取り付け／取り外し	12
シートの取り付け／取り外し	13
座クッションの取り付け	14
乗り降りのしかた	15
アームサポートの跳ね上げ	16
フット・レッグサポートの開閉・取り外し	17
各部の調節のしかた	18
フットサポートの高さ調節	18
座面の高さ調節	18
シート幅の調節	21
座シートの張り具合調節	22
アームサポートの高さ調節	22
バックサポートの張り具合調節	23
キャスターのメンテナンス	24
使用上のご注意	25
保守・点検	25
お手入れ・保管について	25
走行上のご注意	26
段の上がりかた	26
段の下りかた	26
困った時には	27
仕様	28
アフターサービス	裏表紙
保証	裏表紙

本書は、CRT-SGシリーズ共通の取扱説明書です。

本書では、機種ごとに装備が異なる項目には以下のマークをつけています。

マークを目印に、お買い上げの車いすに関係する項目をお読みください。

マークのない項目は全車共通の内容です。

自走型

マーク	対象機種	マーク	対象機種	マーク	対象機種
SG-1	CRT-SG-1	SG-5	CRT-SG-5	SG-7Hi	CRT-SG-7Hi
SG-1-CZ	CRT-SG-1-CZ	SG-7	CRT-SG-7	SG-3B	CRT-SG-3B
SG-3	CRT-SG-3	SG-9	CRT-SG-9		
SG-3-CZ	CRT-SG-3-CZ	SG-9-CZ	CRT-SG-9-CZ		

介助型

マーク	対象機種	マーク	対象機種	マーク	対象機種
SG-2	CRT-SG-2	SG-4-CZ	CRT-SG-4-CZ	SG-10	CRT-SG-10
SG-2-CZ	CRT-SG-2-CZ	SG-6	CRT-SG-6	SG-10-CZ	CRT-SG-10-CZ
SG-4	CRT-SG-4	SG-8	CRT-SG-8		

はじめにご確認ください

本製品ご購入後にはじめて梱包箱をあけるときに、下記のものがすべて入っていることを確認してください。

- ・車いす本体
- ・背アウターシート
- ・レッグサポート
- ・工具（スパナ 2ヶ 六角レンチ 5mm・4mm・3mm 各1ヶ）
- ・取扱説明書（本書）
- ・保証書
- SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ SG-9-CZ SG-10-CZ
- ・座クッション
- SG-3B ・座クッション（ノンバック専用）
- ・ノンバックブレーキ補足取扱説明書

使用目的・特徴

本製品は手動式車いすで、一人乗り用です。これに搭乗して移動と、休息を目的としています。

SG-1 SG-1-CZ SG-3 SG-3-CZ SG-5 SG-7 SG-9 SG-9-CZ SG-7Hi SG-3B

特殊な身体保持具、バックサポート（背）・座位の角度調整機構等がなく、使用者がハンドリムを操作して駆動する手動式の自走用標準型車いすです。

日常生活用に設計されており、特殊な使用目的（スポーツ・入浴など）のものではありません。

SG-2 SG-2-CZ SG-4 SG-4-CZ SG-6 SG-8 SG-10 SG-10-CZ

特殊な身体保持具、バックサポート（背）・座位の角度調整機構等がなく、介助者が操作する介助用標準型車いすです。日常生活用に設計されており、特殊な使用目的（スポーツ・入浴など）のものではありません。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

【表示の意味】

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】



警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 危険



スピードを出さないでください。
スピードが出ているときに
急カーブを走行したり、
急ブレーキをかけたりすると、
転倒して事故やけがに
つながる恐れがあります。



急な下り坂で介助するときは、後ろ向きに
ゆっくり下りてください。また、制動用ブレー
キレバーを使いスピードを落としてください。



車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所
に駐車してください。
坂道等の傾斜のある場所では、駐車用ブレー
キを使用しても車いすが動く場合があり、転倒
など事故につながる恐れがあります。



シート幅調整の際、エックススライドブロック
は必ず左右同じ設定位置に調節してください。
左右の高さが異なると、腰掛けた場合に転倒
して、事故やけがにつながる恐れがあります。



乗り降りの際は、フットサポートに乗らないで
ください。

駆動輪(主輪)が浮き上がり、転倒する恐れが
あります。



自走用であっても自力で操作不可能な場合
では、介助者を伴ってください。



エスカレーター(車いす対応エスカレーターを
除く)や、傾斜のある動く歩道(オートスロープ)
でのご使用は絶対に行わないでください。
転落や転倒など重大な事故やけがにつなが
る恐れがあります。また、車いす対応エスカ
レーターご利用の際は必ず施設管理者の指
示に従ってください。



駆動輪(主輪)とキャスターは、同じ仕様の部品
を使用し、それぞれ座高に対応する位置に取り
付けてください。

駆動輪(主輪)とキャスターの取り付け高さを
誤ると、乗車した際に転倒して、事故やけが
につながる恐れがあります。

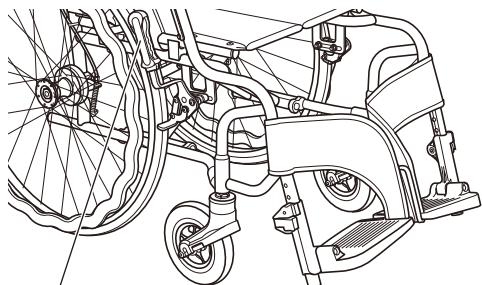
⚠ 警告

! 認知症など、自力で操作ができない使用者が利用する場合は、介助者を伴ってください。

車いすが思わぬ方向に動き、転倒・転落など事故やけがにつながる恐れがあります。

! 駐車用ブレーキレバーに体重をかけないでください。

レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。



駐車用ブレーキのレバー

! 使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。

ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。

! 各部を調整する場合は平坦な場所で行ってください。

車いすが動きだして、事故やけがにつながる恐れがあります。

! 座面の高さ、シート幅の調節は、販売店へ依頼してください。

! 手押しハンドル、本体フレームおよびバックサポートのポケットに重いものを吊り下げたり、入れたりしないでください。

過度の荷物はバランスを崩し、転倒する恐れがあります。

! ウイングアームサポートを跳ね上げた状態で走行しないでください。

使用者が車いすから落ちるなどの、事故やけがにつながる恐れがあります。

! アームサポート・アームサポートフレーム、フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

アームサポートやフット・レッグサポートのロックが外れ、けがをする恐れがあります。

! 乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。

ブレーキがかからっていないと車いすが動きだして、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。駐車用ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。

! 走行中に駐車用ブレーキを使用しないでください。

転倒などの事故につながる恐れがあります。

! タイヤの摩耗に注意してください。

タイヤが摩耗すると、駐車用ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。

! 乗り降りの際、上げたフットサポートに足が当たらないよう注意してください。

けがをする恐れがあります。

! フット・レッグサポートを開いた状態で走行しないでください。

事故やけがにつながる恐れがあります。

! 前かがみの状態など、車いす前方向へのみ体重をかけるような状況は、座面後方が浮き上がり前方に転倒する恐れがあります。

! フット・レッグサポートを閉じた後は、必ずフックで固定されたことを確認してください。事故やけがにつながる恐れがあります。

! 制動用ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。

転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

! 車いすの分解、フレーム構造を変更するような改造は行わないでください。

製品の強度や耐久性が損なわれ、転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

! 走行中は、アームサポートフレームの跳ね上げ、フット・レッグサポートの開閉等の操作をしないでください。

事故やけがにつながる恐れがあります。

! 警告

! ウイングアームサポートを戻した後は、必ずロックされたことを確認してください。

使用中に外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。

! 後方へ進行や旋回をするときに、背折れジョイントが障害物に当たらないように注意してください。

背折れジョイントのロックが外れて後方で姿勢をくずす恐れがあります。

! 乗り降りの際、スイングアウト部に身体や衣類を引っ掛けないように注意してください。

転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

! クッションフロアやフローリングなど床面の材質によっては、ハイポリマータイヤとの相性により車いすを走行させると汚れや付着したり、床面を傷つける場合があります。充分注意して使用してください。

! 注意

! この車いすは一人用です。二人以上の乗車や、目的以外での使用はしないでください。

! 使用者が乗車中は、背折れジョイントの操作は絶対に行わないでください。
背折れのヒンジ部分で手や腕をはさむ恐れがあります。

! 背折れジョイント、ウイングアームサポート、フット・レッグサポートの可動部に指や身体をはさまないよう注意してください。

! 走行中、足がフット・レッグサポートから落ちないようにしてください。
事故やけがにつながる恐れがあります。

! 暖房器具にタイヤを近づけないでください。
タイヤの表面が溶けたり破損する場合があります。破損した場合は乗車をやめて必ず修理してください。

! フットサポートの下には足を入れないでください。
足を地面でこすったり、フットサポートやキャスターなどに足をぶつけてけがをする恐れがあります。

! シンナー・ベンジン等の溶剤は、使用しないでください。
製品を傷める恐れがあります。

! 最大体重（積載物も含む）は100kgです。体重制限を守って使用してください。

! 座シートやアームサポートのパイプを握って車いすの開閉操作を絶対に行わないでください。
手指や爪、衣服が巻き込まれてけがをする恐れがあります。



! 使用する前に駆動輪（主輪）・キャスター・駐車用ブレーキ等のネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
ゆるんだ状態で使用されると、部品のガタツキや脱落などの原因となり事故やけがにつながる恐れがあります。

! 走行中、身体を乗り出さないでください。
走行の安全を損ない危険です。

! アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。
アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。

! 操作中に異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。
事故やけがにつながる恐れがあります。

! アームサポートの高さを調整した後は、必ずロックされたことを確認してください。

⚠ 注意

! 段差乗り越え時等でキャスタを上げる際は、必ず手押しハンドルを手前に引くと同時に、足元のティッピングレバーを押し出してください。
手押しハンドルのみに無理な力がかかると、フレームの破損につながります。

! 段差のあるところを上り下りしたり、斜面に侵入するときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり操作してください。
車いすの破損や故障の原因となります。

! 伸縮延長レバーの長さを変更する際、レバーのすき間に指などを入れないようにしてください。
けがをする恐れがあります。

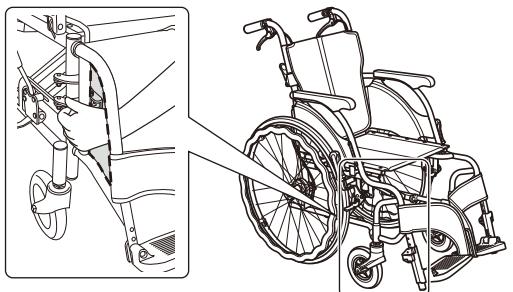
! フット・レッグサポートを開いて使用する際は、フット・レッグサポートを取り外してください。
フット・レッグサポートを取り外さず開いたまま使用すると、駐車用ブレーキや障害物との接触などにより、故障やけがにつながる恐れがあります。

! フットサポートは足で上げる場合は、素足では行わないでください。
けがをする恐れがあります。

! 使用者の体格や座位姿勢によってサイドガードが外側に広がった状態で使用しないでください。
車いすの破損や故障の原因となります。

! バックサポートの面ファスナーの張り具合を過度に強くしますと、十分に車いすが開かなくなりフレームの変形の原因になります。

! フット・レッグサポートのすき間に手や足を入れないでください。
けがをする恐れがあります。



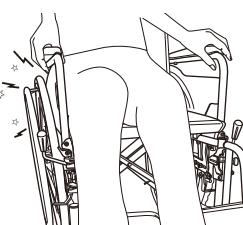
! ワンハンドブレーキをかけた際は、操作側と反対側の両方のブレーキがしっかりととかかっていることを確認してください。
ブレーキのかかりが緩いと車いすが動きだして、転倒する恐れがあります。

! フリースなど毛羽の長い衣服で車いすをご利用になる場合に、車いすのシートと衣服の相性や静電気の影響などによってシート生地に毛羽が付着することがあります。衣類用ブラシなどで付着した毛羽を取り除くか、市販の静電気防止スプレーを使用するなどしてください。

! 車いすを自動車に乗せる際および自動車から降ろす際は、車いすに大きな衝撃を与えないよう、ゆっくりと静かに降ろしてください。
車いすの破損や故障の原因となります。

! 車輪・キャスターを他のサイズや種類に変更しないでください。

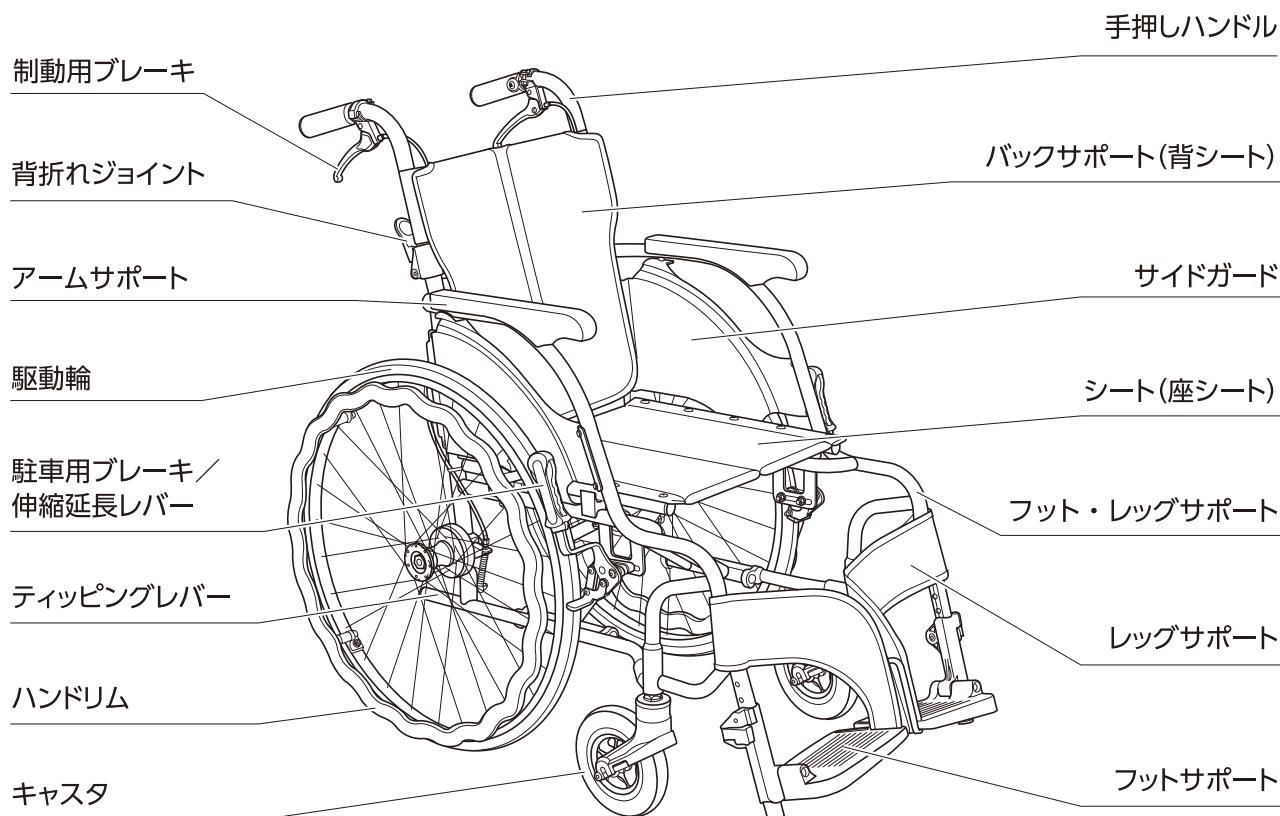
! シャワーや入浴には使用しないでください。
水分や湿気などにより故障する恐れがあります。



各部のなまえ

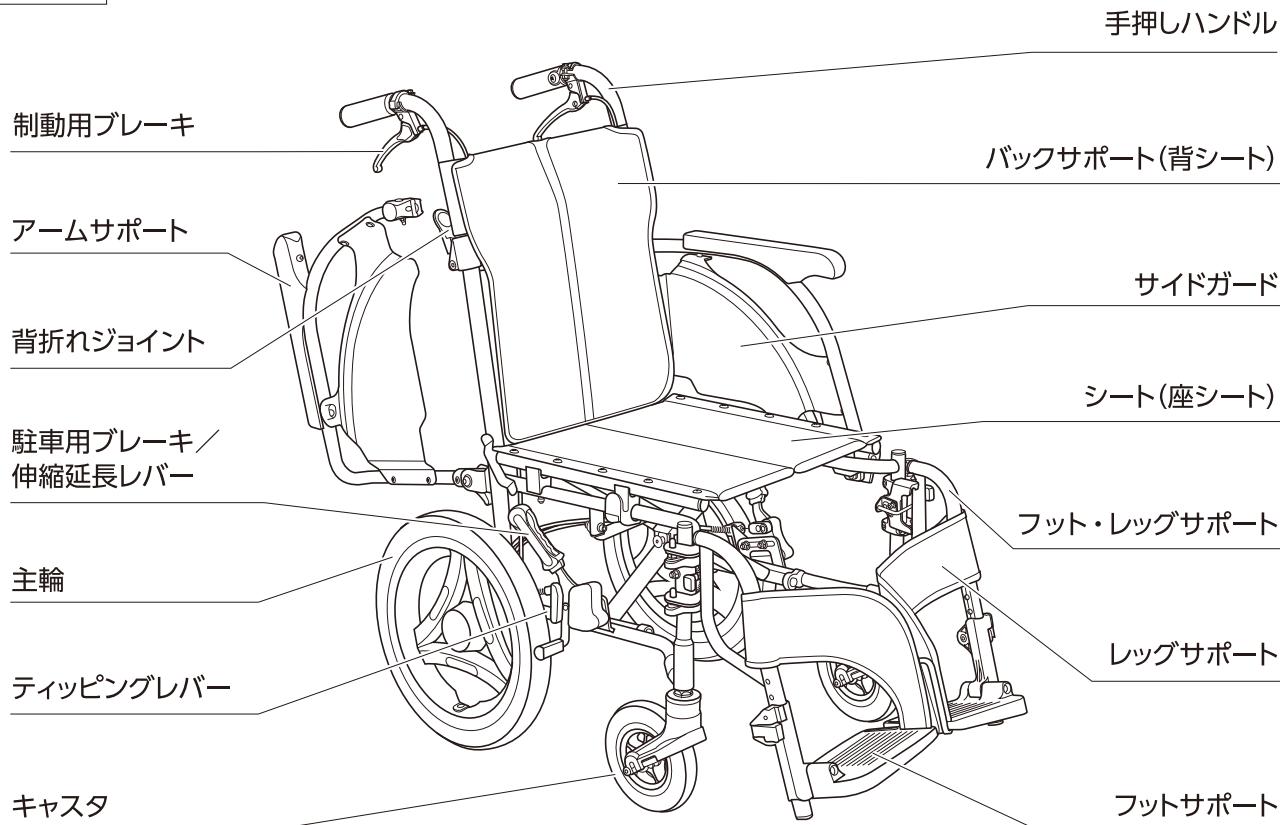
自走型

イラストはCRT-SG-1



介助型

イラストはCRT-SG-8



使いかた

ブレーキのかけかた

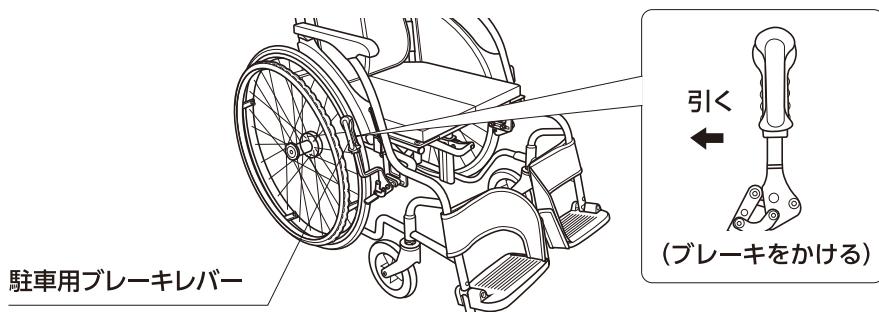
⚠️ 警告

- 乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。ブレーキがかからっていないと車いすが動きだして、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。駐車用ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。
- 駐車用ブレーキレバーに体重をかけないでください。レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。
- 車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜がある場所では、駐車用ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。
- タイヤの摩耗や劣化に注意してください。タイヤが摩耗や劣化すると、駐車用ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
- 走行中に駐車用ブレーキを使用しないでください。転倒などの事故につながる恐れがあります。

● 駐車用ブレーキのかけかた

使用者もしくは介助者が、左右の駐車用ブレーキレバーを後方に引いてかけます。

駐車用ブレーキレバーを前方に戻すと解除されます。

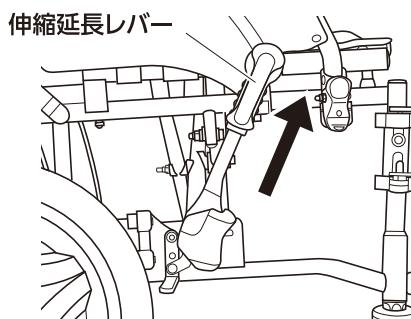


● スライド延長ブレーキについて

伸縮延長レバーを伸ばすと、軽い力でブレーキを操作することができます。

長さを変更する際は、伸縮延長レバーがカチッと音がしてロックされるまでしっかりと上へ引き上げてください。

元に戻す際は、伸縮延長レバーを手のひらなどを使って下に押し込んでください。



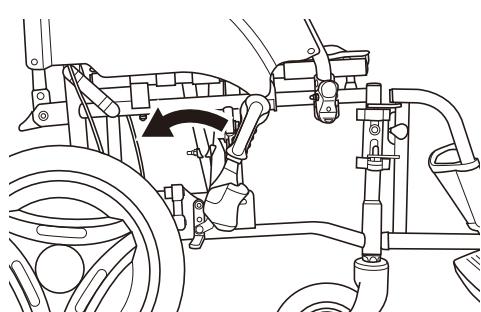
● ワンハンドブレーキについて

SG-5 SG-6 SG-7 SG-8 SG-7Hi

ワンハンドブレーキは左右いずれか一方のレバーを引くことで、両輪の駐車用ブレーキをかけることができます。

⚠️ 注意

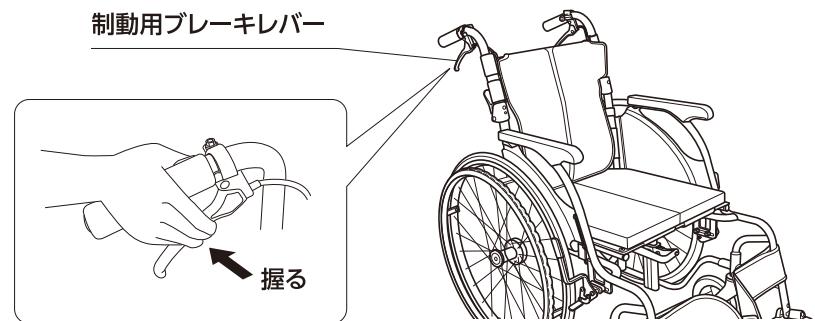
- ワンハンドブレーキは左右のブレーキが連動して動きます。手や指をはさまないように注意してください。
- ワンハンドブレーキをかけた際は、操作側と反対側の両方のブレーキがしっかりとかかっていることを確認してください。ブレーキのかかりが緩いと車いすが動きだして、転倒する恐れがあります。



● 制動用ブレーキのかけかた

⚠ 危険	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードを出さないでください。スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。 ・急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにしてゆっくり降りてください。また、制動用ブレーキを使いスピードを落としてください。 ・雨の日など路面、タイヤが濡れている状態では、本来の制動力を得られないことがあります。十分に注意して操作してください。
	<p>⚠ 警告 制動用ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。片側のみかけると、車いすが転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。</p>
	<p>⚠ 注意 ブレーキワイヤーは、安全のため定期的に交換してください。(P.25「消耗品、交換部品の確認」参照)</p>

介助者が、左右の手押しハンドル下側の
制動用ブレーキレバーを握ってかけます。
ブレーキレバーを放すと解除されます。



● ノンバックブレーキについて

SG-3B

別添「ノンバックブレーキ補足取扱説明書」をお読みください。

車いすの開きかた／たたみかた

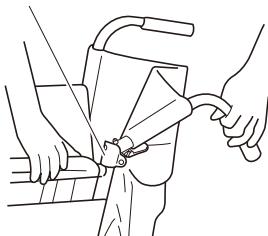
△注意

- ・シートパイプやアームサポートのパイプを握ったまま、車いすの開閉操作を絶対に行わないでください。手指や爪、衣服が巻き込まれてけがをする恐れがあります。
- ・作業は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・背折れジョイントの開口部に手や指を近づけないでください。
- ・背折れジョイントを上げる際は、開口部にシートを巻き込まないように注意してください。背折れジョイントが完全にロックされない恐れがあります。また、シートの破損につながる恐れがあります。
- ・後方へ進行や旋回をするときに、背折れジョイントが障害物に当たらないように注意してください。背折れジョイントのロックが外れて、後方へ姿勢をくずす恐れがあります。

● 開きかた

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

背折れジョイント



2 両側の手押しハンドルを上げます。

*背折れジョイントが完全にロックされるまで上げてください。

*背折れジョイントの開口部に手や指を近づけないでください。手や指をはさんでけがをする恐れがあります。



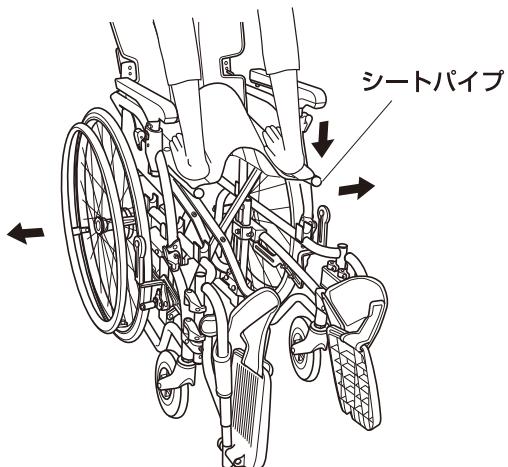
手押しハンドルを
両側とも上げる

手をはさむ
おそれあり

3 座シート表面(左右のシートパイプ上辺)を、両手の手のひらで押して開きます。

*シートパイプを握らないでください。

*座クッションが取り付けられている場合は、座クッションを外してから車いすを開くことをお勧めします。



シートパイプを握らない

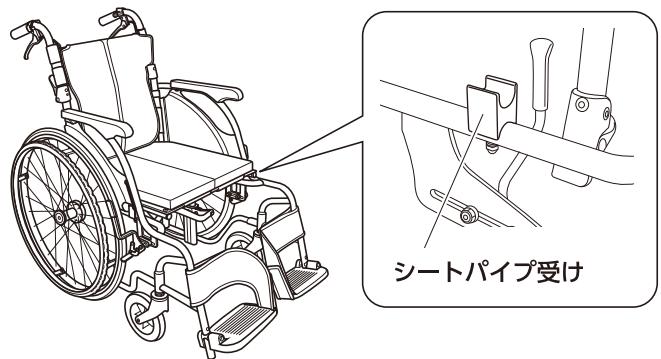
△注意

アームサポートや手押しハンドルを持って左右に広げても、車いすは開きません。
無理に広げようとすると、フレームの破損につながる恐れがあります。

4 シートパイプ受けに、シートパイプがしっかりとまっていることを確認してください。

*しっかりはまっていない場合は、シートパイプの中央付近を押してはめてください。押すときは、シートパイプの先端を押さないでください。フレームが変形する恐れがあります。

シートパイプ受けにシートパイプをはめ込むことで、ガタつきをなくす構造になっています。



5 両側のフットサポートを下ろします。

● たたみかた

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。



レバーを引き
手押しハンドルを
下げる

2 背折れジョイントのレバーを引いて、手押しハンドルを両側とも下げます。

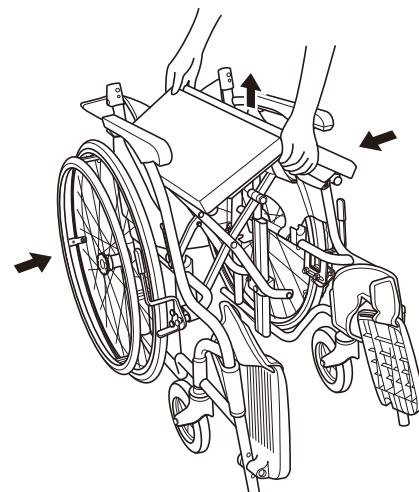
3 両側のフットサポートを上げます。

4 座シートの前後中央部分を持ち上げて、シートパイプを引き寄せます。

5 左右のアームサポートを外側から内側に押して、座シートを折りたたみます。

*背アウターシート、座クッションを取り外して折りたたむと、より小さくたむことができます。

*車いすをたたむときは各部品が可動しますので、手をはさまないように注意してください。



インナーシートの取り付け / 取り外し

SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ SG-9-CZ SG-10-CZ

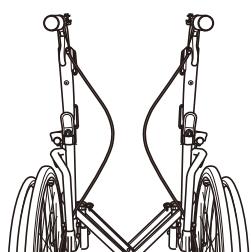
△注意

- ・作業は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・使用者が乗車していない状態で作業してください。
- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。

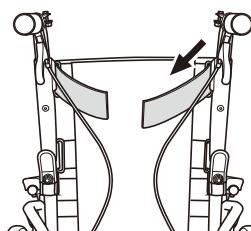
● バックインナーサポートの取り付けかた（出荷時は取り付けられた状態となっております。）

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

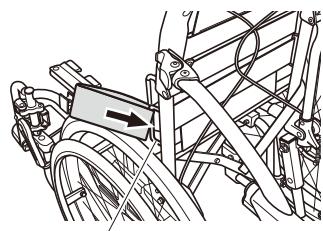
2 車いすのフレームを軽く開いた状態にします。



3 背シート上部のベルト（2本）を押手パイプのリングに通し折り返します。

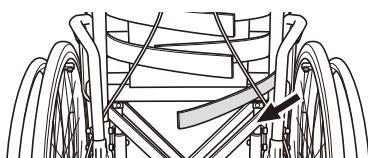


4 背シート中央部のベルト(2本)を骨盤サポートフレームに巻きつけます。



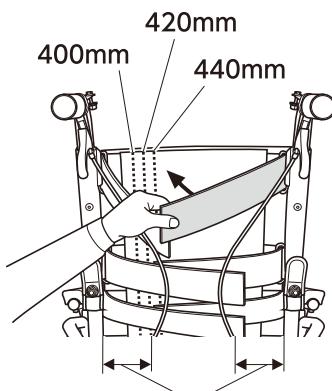
骨盤サポートフレーム

5 背シート下部のベルト（1本）を背パイプに巻きつけます。



6 車いすのシート幅に対応した目印まで右側のベルト先端を左側へ引っ張ります。

*背シートの赤いラインはベルトの調整の基準線です。
ベルトを張る場合は右側のベルト先端が車いすのシート幅の赤いラインを超えないようにしてください。



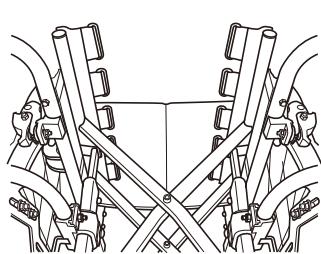
左右均等に合わせる

7 左側のベルトを同じ長さだけ右側へ引っ張り、シート本体とベルトの面ファスナーをしっかり貼り合わせます。

● 座インナーシートの取り付けかた（出荷時は取り付けられた状態となっております。）

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

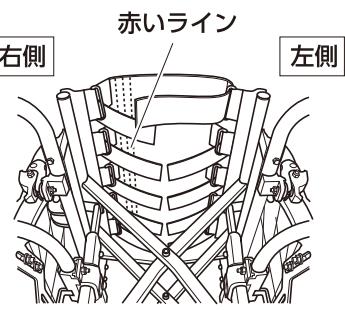
2 車いすのフレームを軽く開いた状態にします。



(下から見た図)

3 座シートのベルト（左右各5本）をシートパイプのリングに通し折り返します。

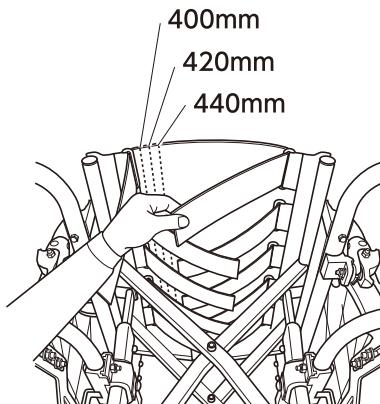
*赤いラインの側を車いすに対し
て右側に取り付けてください。



(下から見た図)

- 4** 車いすのシート幅に対応した目印まで左側のシートを右側へ引っ張ります。

* 座シートの赤いラインはベルト調整の基準線です。ベルトを張る場合は左側のベルト先端が車いすのシート幅の赤いラインを超えないようにしてください。



- 5** 左側のベルトを同じ長さだけ左側へ引っ張り、シート本体とベルトの面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。

● 取り外しかた

取り外しは、逆の手順で行ってください。

シートの取り付け / 取り外し

△注意

- ・作業は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。付け外しの際は、面ファスナー部分が衣服に接着するとほつれなど衣服を痛める恐れがあります。また、面ファスナーの接着が弱くなる原因にもなりますので注意してください。
- ・シート取り付けの際は、アウターシートとインナーシートの面ファスナーを両側から押させて、しっかりと接着させてください。

● 背アウターシートの取り付けかた

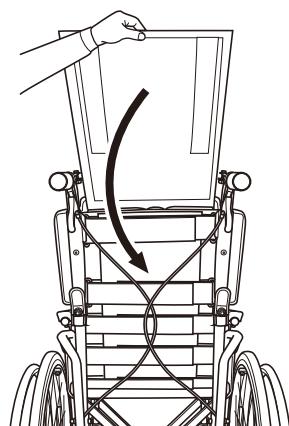
SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ
SG-9-CZ SG-10-CZ

SG-1 SG-2 SG-3 SG-4
SG-5 SG-6 SG-7 SG-8
SG-9 SG-10 SG-7Hi SG-3B

- 1** 背アウターシートのポケット部を後ろにして、折り目部分が上にくるように、車いす本体に合わせます。

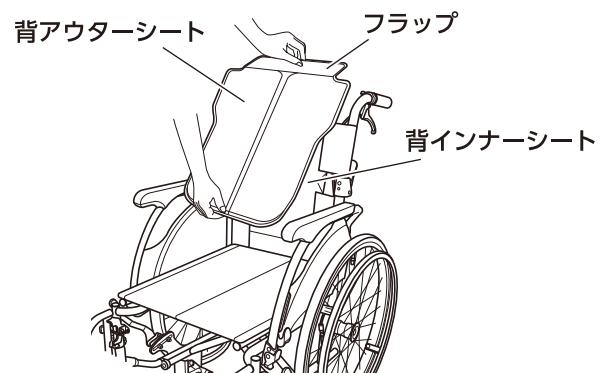
- 2** 背アウターシートと背インナーシートの面ファスナーを貼り合わせます。

* ブレーキワイヤーは背アウターシートの中に入れてください。



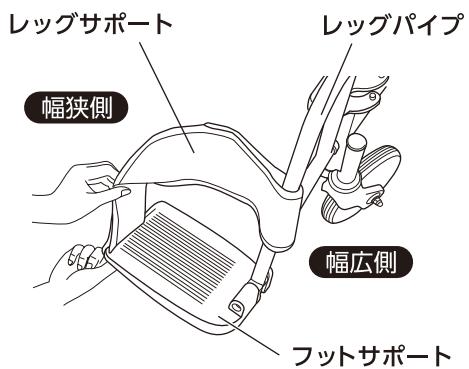
- 1** 背アウターシートのフラップを後ろにして、折り目部分が上にくるように車いす本体に合わせます。

- 2** 背アウターシートと背インナーシートの面ファスナーを貼り合わせます。



● レッグサポートの取り付けかた

- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 レッグサポートの幅広側の端を車いす本体のレッグパイプに巻きつけ、面ファスナーを貼り合わせます。
- 3 レッグサポートの幅狭側の端をフットサポート先端の前後どちらかの穴に差し込みます。
- 4 穴に通したレッグサポートの端を折り返して、面ファスナーを貼り合わせます。
- 5 反対側も同様の作業を行います。



● 取り外しかた

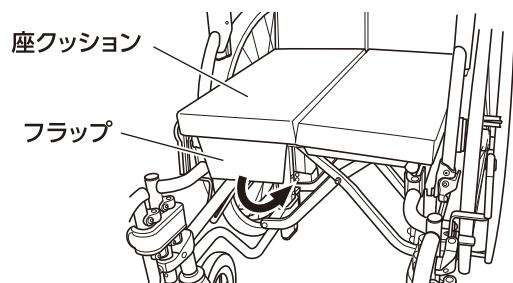
取り外しは、逆の手順で行ってください。

座クッションの取り付け

SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ SG-9-CZ SG-10-CZ SG-3B

- 1 座クッションのラップを前側にし、車いす本体の座インナーシート表面の面ファスナーと貼り合わせます。
- 2 ラップを折り返し、座インナーシート裏面の面ファスナーと貼り合わせます。

* SG-3B の座クッションにはラップがありません。



乗り降りのしかた

⚠ 警告

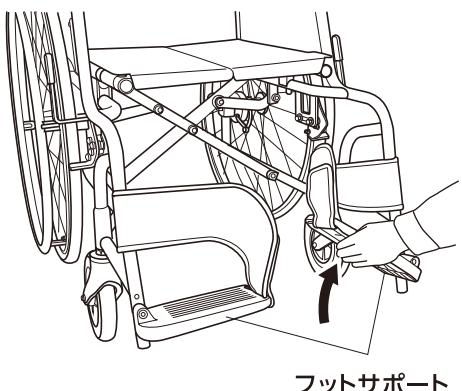
- ・乗り降りの際は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。車いすが動きだして大変危険です。
- ・車いすに乗り移る際は、フットサポートの上には乗らないでください。転倒して、けがをする恐れがあります。
- ・上げたフットサポートに足が当たらないように注意してください。けがをする恐れがあります。
- ・ワンハンドブレーキ装着車は、操作側と反対側の両輪のブレーキがしっかりととかかっていることを確認してください。
ブレーキのかかり緩いと、車いすが動きだして、転倒して、けがをする恐れがあります。
- SG-5 SG-6 SG-7 SG-8 SG-7Hi
- ・ノンバックブレーキシステム装着車は、必ず別添「ノンバックブレーキ 補足取扱説明書」もお読みください。
- SG-3B

● 乗りかた

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

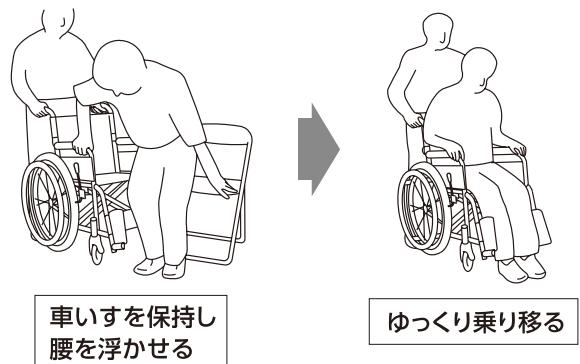
2 フットサポートを両側とも上げます。

- * フットサポートの上には乗らないでください。転倒して、けがをする恐れがあります。
- * 上げたフットサポートが足に当たらないように注意してください。けがをする恐れがあります。



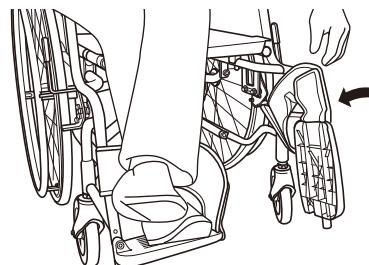
3 必要に応じて、「アームサポートの跳ね上げ（⇒P.16）」や、「フット・レッグサポートの開閉・取り外し（⇒P.17）」を行います。

4 車いすをしっかりと保持しながら、ゆっくり乗り移ります。



5 「アームサポートフレームの跳ね上げ」や、「フット・レッグサポートの開閉・取り外し」を行っていた場合は、元に戻します。

6 フットサポートを下ろして両足を乗せます。



● 降りかた

「乗りかた」と逆の手順で行ってください。

アームサポートの跳ね上げ

SG-3 SG-3-CZ SG-4 SG-4-CZ SG-7 SG-8 SG-9 SG-9-CZ SG-10 SG-10-CZ
SG-7Hi SG-3B

アームサポートをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。
ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行うことができます。

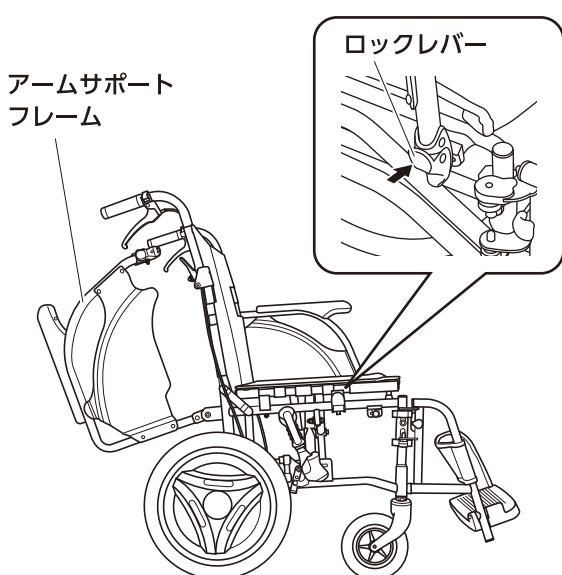
△警告	<ul style="list-style-type: none"> ・アームサポートの跳ね上げは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。 ・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて、事故やけがにつながる恐れがあります。
△注意	<p>アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。</p>

● 跳ね上げかた

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 ロックレバーを押しながら、アームサポートフレームを持ちあげて後方へ跳ね上げます。

* アームサポートを上げた状態で、アームサポートに力を加えないでください。フレームが変形して故障の原因となります。



● 戻しかた

△警告 アームサポートを下ろすときは、身体や衣服をはさまないように注意してください。

アームサポートを下ろして、元の位置に戻します。

* アームサポートを下ろした後は、アームサポートが確実に固定されていることを確認してください。

△警告 アームサポートを跳ね上げた状態で走行しないでください。使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

フット・レッグサポートの開閉・取り外し

SG-3

SG-3-CZ

SG-4

SG-4-CZ

SG-7

SG-8

SG-9

SG-9-CZ

SG-10

SG-10-CZ

SG-7Hi

SG-3B

フット・レッグサポートをワンタッチで開閉させたり、取り外すことができます。車いすへの乗り降りの際は、フット・レッグサポートが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

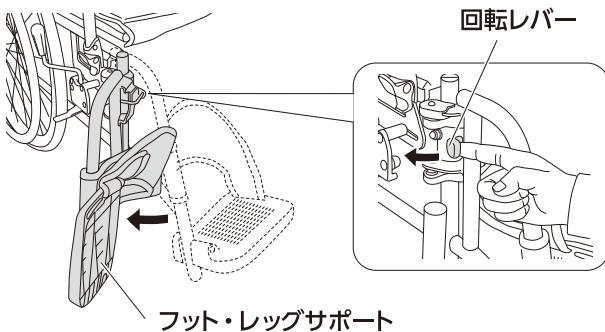
△警告	<ul style="list-style-type: none"> ・ フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。 ・ フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて、事故やけがにつながる恐れがあります。 ・ 乗り降りの際は、フット・レッグサポートに身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。 ・ フット・レッグサポートの開閉時、フット・レッグサポートに身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。 ・ フット・レッグサポートを開いた状態で、車いすの操作をしないでください。 ・ フット・レッグサポートを戻した後は、フット・レッグサポートが確実に固定されていることを確認してください。

△注意	フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、使用者の脚をフットサポートから降ろした状態で行ってください。
------------	--

● 開きかた

回転レバーを矢印の方向に引き、そのままフット・レッグサポートを外側に回転させて開きます。

* フット・レッグサポートを開いた状態で、フット・レッグサポートに力を加えないでください。部品が変形して故障の原因となります。



● 閉じかた

フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

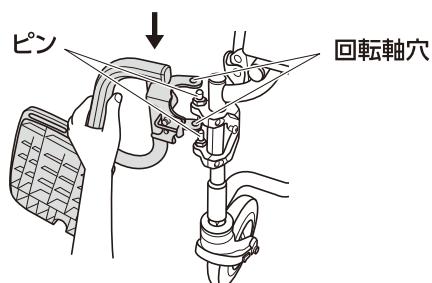
* フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。
* フット・レッグサポートを閉じた後は、フット・レッグサポートが確実に固定されていることを確認してください。

● 取り外しかた

フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

1 本体フレームのピン側に、フット・レッグサポート側の回転軸穴を合わせて、垂直に上からはめ込みます。



2 フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

* フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。
* フット・レッグサポートを閉じた後は、フット・レッグサポートが確実に固定されていることを確認してください。

各部の調節のしかた

△警告

- 各部の調節は必ず駐車用ブレーキをかけてから、平坦な場所で行ってください。
- 座面の高さ調節は、販売店へ依頼してください。

フットサポートの高さ調節

● ワンプッシュ(スライド)式フットサポート

使用者に合わせて、フットサポートの高さを適切な位置に調節してください。
20mm間隔で4段階の高さに調節することができます。

△警告

- 高さ調節をした後は、必ずフットサポートが固定されていることを確認してください。
- ロックピンが出ている状態では使用しないでください。足を乗せた際にフットサポートが動いたり、脱落してけがをする恐れがあります。
- 必ずロックピンがレッグサポートの調節穴に入っているか確認してください。

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 クランプレバーを開きます。

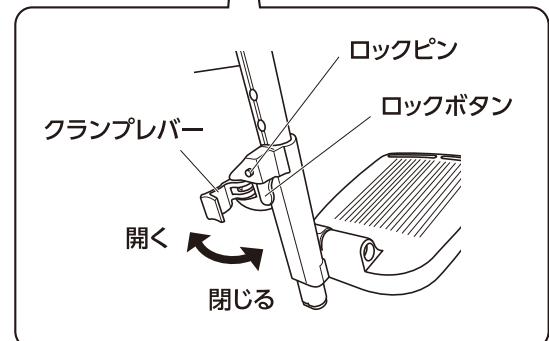
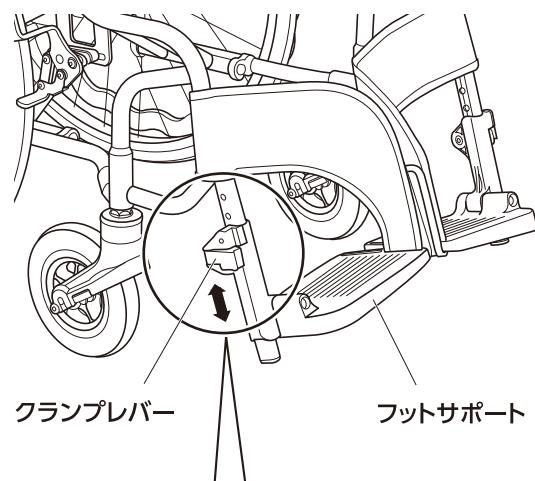
3 ロックボタンを押すと、ロックピンが飛び出ます。
この状態で高さ調節が可能になります。

4 ロックボタンを押しながら、伸ばしたい（または縮めたい）
方向へフットサポートを少し動かします。
フットサポートが動いたらロックボタンから手を離して、引き
続き伸ばす（または縮める）と、カチッと音がしてロックピンが
レッグサポートの穴に入り、フットサポートが固定されます。
希望の高さになるまで、これを繰り返します。

5 希望の高さに調節したら、フットサポートを軽く上下に動かし
て、ロックピンが確実に調節穴に入っていることを確認して
ください。

6 ロックピンが出ていないことを確認して、クランプレバーを元
の位置に戻します。

* 調節後、フットサポートが確実に固定されていることを
確認してください。



座面の高さ調節

SG-9 SG-9-CZ SG-10 SG-10-CZ

座面の高さを最大3段階（低・中・高）に調節することができます。

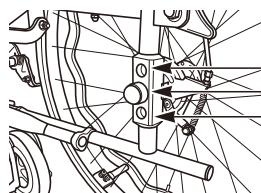
座面の高さ調節は、駆動輪（主輪）とキャスターの取り付け位置をそれぞれ対応する高さ（低、中、または高）に調節することで行います。

* 駆動輪（主輪）とキャスターは、それぞれ左右同じ高さに調節してください。

* 座面の高さを変更したら、必ず駐車用ブレーキの取り付け位置も併せて調節してください。

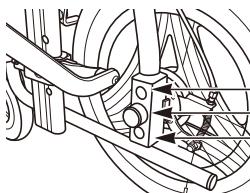
● 駆動輪(主輪)とキャスターの調節範囲

駆動輪(自走型)
SG-9 SG-9-CZ



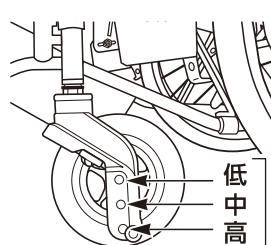
自走用

主輪(介助型)
SG-10 SG-10-CZ



介助用

キャスター



自走用・介助用

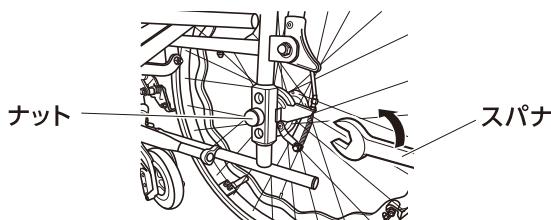


- ・駆動輪・主輪とキャスターは、必ず対応する高さ設定に調節してください。駆動輪・主輪とキャスターの調節を誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。
- ・使用者を乗せたまま調節を行うことは、絶対におやめください。

● 駆動輪(主輪)の高さを変える

使用する工具：19mmスパナ ソケットレンチ（ソケット19mm）（締め付けトルク：20～24Nm）

- 1 作業しない側の駐車用ブレーキのみかけます。
- 2 車軸内側の保護キャップを外します。
* SG-10 (SG-10-CZ) 車輪外側の保護キャップも外してください。
- 3 駆動輪(主輪)の車軸外側の軸にソケットレンチをはめて、車軸内側のナットをスパナで回して外し、駆動輪(主輪)を引き抜きます。
* このとき、制動用ブレーキも一緒に取り外します。



- 4 駆動輪(主輪)を取り付ける穴を決めて、駆動輪(主輪)の車軸を制動用ブレーキに通し、本体フレームに差し込みます。

- 5 車軸内側にナットを取り付けて、車軸外側をソケットレンチでおさえたまま、車軸内側のナットをスパナで締め込みます。
- 6 駆動輪(主輪)がガタつかず、確実に固定されていることを確認します。

- 7 外していた保護キャップを取り付けます。

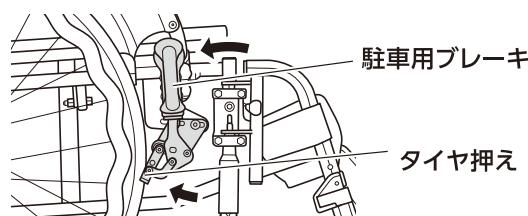
* 反対側も同じ高さに調節してください。

● 駐車用ブレーキの取付位置を調節する

- * 座面の高さを調節したら、駆動輪(主輪)と駐車用ブレーキ間の距離が変わります。必ず駐車用ブレーキの取付位置を調節してください。
- * ブレーキの効き具合を隨時点検し、効きが悪い場合は、ブレーキの取付位置を調節してください。

使用する工具：10mmスパナ（締め付けトルク：5.0～6.0Nm）

- 1 駐車用ブレーキの内側のナット(2本)をスパナでゆるめます。
- 2 駐車用ブレーキをかけたときに、タイヤに駐車用ブレーキのタイヤ押えが当たり、駆動輪(主輪)がしっかりと止まる位置に調節します。



- 3 ナット(2本)を締め、駐車用ブレーキがガタつかずしっかりと固定されていることを確認します。
- 4 駐車用ブレーキをかけ、駆動輪(主輪)がしっかりと止まることを確認します。

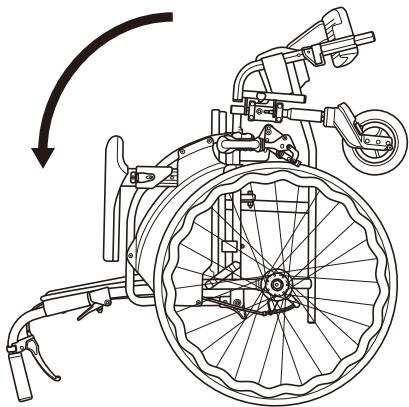
- * 駆動輪(主輪)がしっかりと止まらない場合、または駐車用ブレーキが効きすぎる場合は、再度調節してください。
- * 反対側も同様に調節してください。

● キャスターの高さを変える

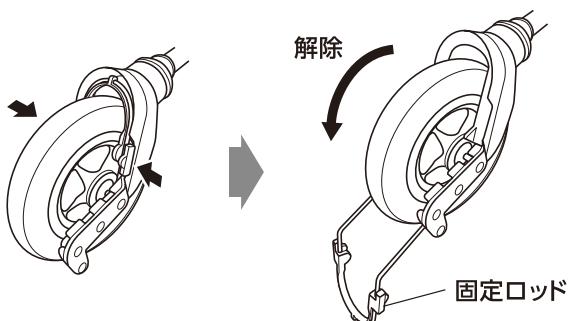
1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 車いすを後方に倒します。

*まわりに人や障害物がないことを確認して、ゆっくり動かしてください。

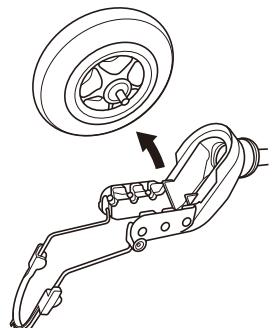


3 キャスターフォークの固定ロッドを両側から指ではさみ、矢印の方向に動かしてロックを解除します。



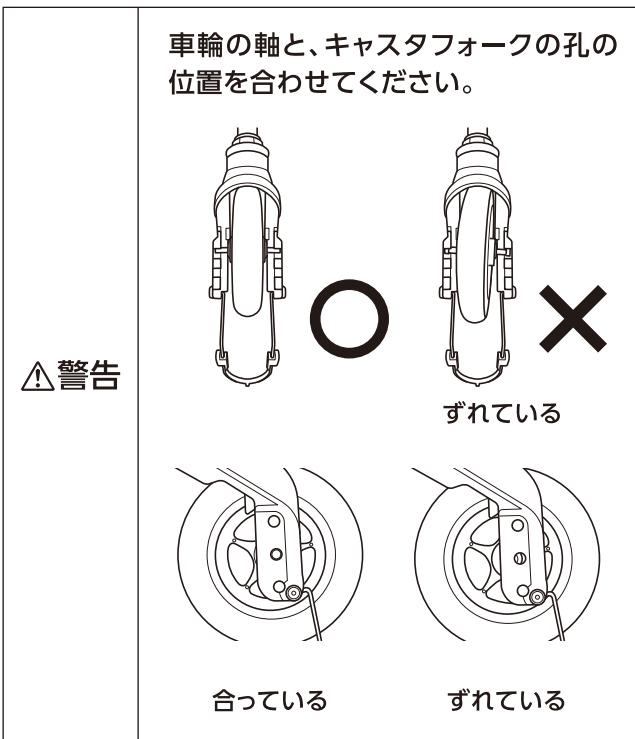
4 車輪を上に引っ張って、車輪を外します。

*キャスターフォークや車輪の軸に異物があるときは、この時点できり除いてください。



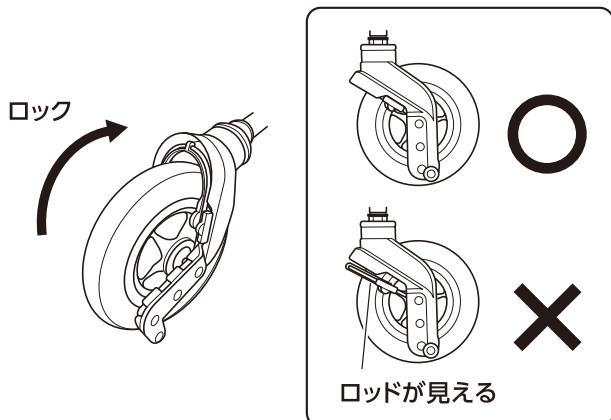
5 「駆動輪(主輪)とキャスターの調節範囲」に従って、駆動輪(主輪)と同じ高さ設定にある溝に、車輪を挿入します。

*反対側も同じ高さに挿入してください。



6 固定ロッドをもとの位置に戻してロックします。

*車輪を軽く動かして、固定ロッドで確実に固定されていることを確認してください。



7 車いすを元の位置に戻します。

シート幅の調節

SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ SG-9-CZ SG-10-CZ

△危険

- ・シート幅調整の際、エックスベースブロックは必ず左右同じ設定位置に調節してください。左右の高さが異なると、腰掛けた場合に転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・調整作業で各部をスライドさせる際は、指を挟まないよう十分注意してください。

シート幅はS、M、Lの3段階(20mmピッチ)に調節することができます。

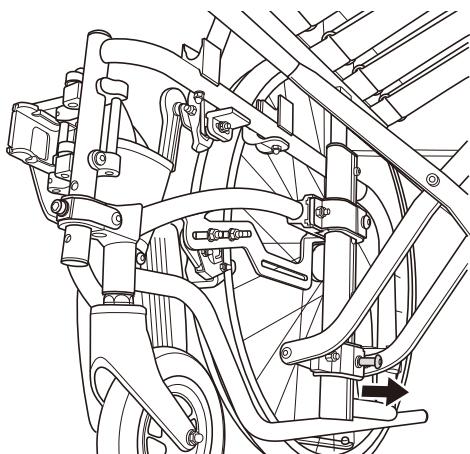
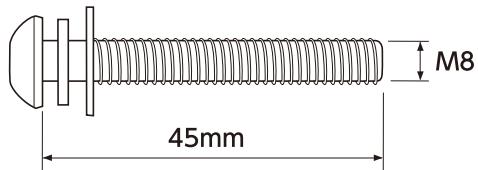
シート幅調節はセンタースライドパイプのエックスベースブロック(黒色)の位置とバックサポート、座シートの調節によって行います。

1 シート幅を広げる場合は、はじめにバックインナーサポート、座インナーシートのベルトを緩めます。
(⇒「P.22 座シートの張り具合調節」、「P.23 バックサポートの張り具合調節」)

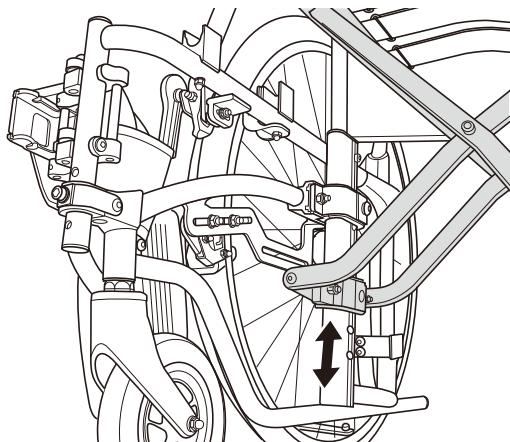
- * エックスベースブロックの位置は左右同じに調節してください。
- * 車いすを少したたんだ状態で作業を行ってください。

2 エックスベースブロック(黒色)のシート幅調節ボルトを取り外します。

シート幅調節ボルト 金色 左右各1本

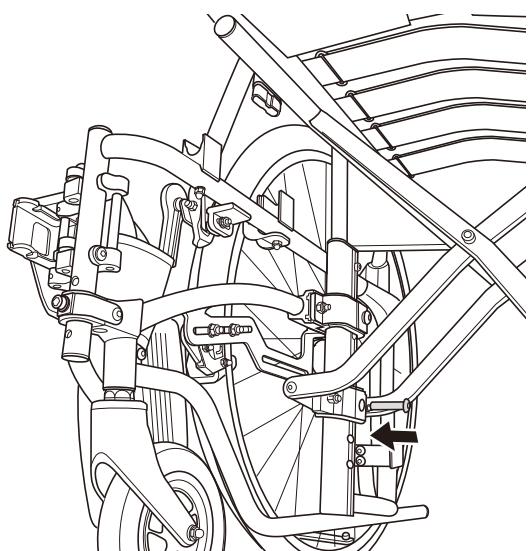


3 エックスベースブロック(黒色)を上下にスライドさせ、スライドパイプに表記されているシート幅の位置に合わせます。



4 シート幅調節ボルトを取り付け、しっかりと締めきり固定します。

締め付けトルク：11.0～12.0 N·m



5 バックインナーサポート、座インナーシートの張り具合を調節します。(P.22参照)

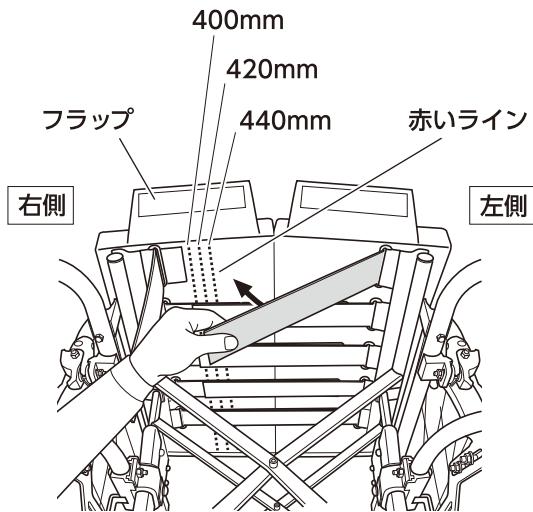
座シートの張り具合調節

SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ SG-9-CZ SG-10-CZ

△注意 面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。

- * シート幅を調節したときは、シート幅に合わせて適切な張り具合になるように座シートを調節してください。
- * 座シートの張り具合は隨時チェックし、必要に応じて調節してください。
- * 座シートを張りすぎるとエックスフレームが浮いて座受けに乗らない状態になります。

- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 座クッション前部のフラップをはがします。
- 3 ベルトの面ファスナーをはがし、車いすのシート幅に対応した目印まで左側のシートを右側へ引っ張ります。
 - * 座シートの赤いラインはベルト調整の基準線です。
ベルトを張る場合は左側のベルト先端が車いすのシート幅の赤いラインを超えないようにしてください。
- 4 左側のベルトを同じ長さだけ左側へ引っ張り、シート本体とベルトの面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。
- 5 前部フランプを折り返し面ファスナーを貼り合わせます。
- 6 座面に力を加え、しっかりと固定されていることを確認します。



(下から見た図)

アームサポートの高さ調節

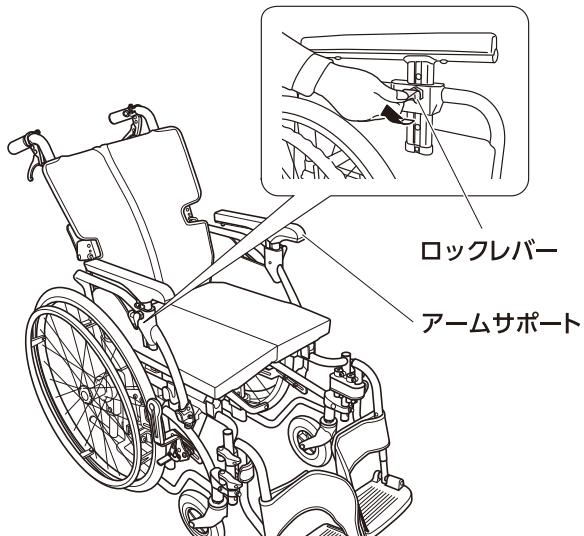
SG-9 SG-9-CZ SG-10 SG-10-CZ

△注意

- ・高さ調節をした後は、アームサポートが確実に固定されていることを確認してください。
- ・調節中にアームサポートが下がり、アームサポートフレームとアームサポートの間に指をはさまないよう注意してください。けがをする恐れがあります。
- ・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。
- ・アームサポートの左右を入れ替えたり、前後の向き入れを変えて使用しないでください。

- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 アームサポートを支えながら、ロックレバーを引いてロックを解除します。
- 3 アームサポートを上下に動かして、高さを調節します。
- 4 希望の高さに調節したら、ロックレバーを押し下げます。
- 5 アームサポートを軽く上下に動かして、ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームサポートが確実に固定されていることを確認してください。

* 反対側も同様に調節してください。



バックサポートの張り具合調節

SG-1-CZ SG-2-CZ SG-3-CZ SG-4-CZ SG-9-CZ SG-10-CZ

△注意

- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。
- ・面ファスナーの張り具合を過度に強くしますと、十分に車いすが開かなくなり、フレームの変形の原因になります。

* バックサポートの張り具合を隨時チェックして、必要に応じて調節してください。
 * シート幅を調節したときは、シート幅に合わせて適切な張り具合になるようにバックサポートも調節してください。

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 背アウターシートのポケット部をめくり上げます。

3 ベルト(面ファスナー)をはがして、車いすのシート幅に対応した目印まで右側のベルト先端を左側へ引っ張ります。

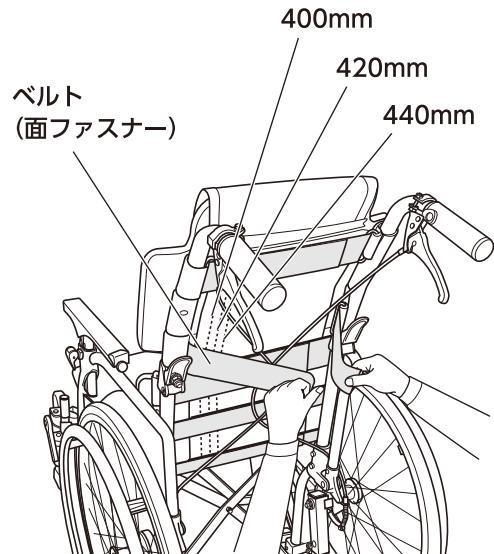
* 背シートの赤いラインはベルト調整の基準線です。
 ベルトを張る場合は右側のベルト先端が車いすのシート幅の赤いラインを超えないようにしてください。

4 左側のベルトを同じ長さだけ右側へ引っ張り、シート本体とベルトの面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。

5 ポケット部を折り返して、ベルトの面ファスナーと貼り合わせます。

6 バックサポートに力を加えて、確実に固定されていることを確認します。

* 過度の調節(ゆるめすぎ・締めすぎ)はかえって姿勢を崩すことになります。十分注意して行ってください。



キャスターのメンテナンス

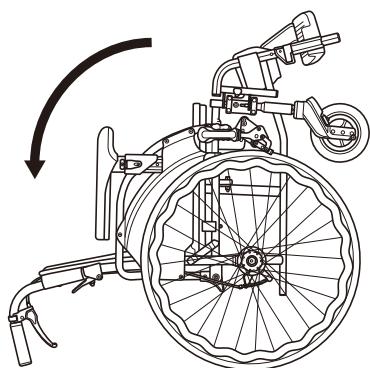
本製品はキャスターの車輪を工具を使用することなく取り外すことができます。
車軸にからまった異物を取り除く際に便利です。

● 車輪の外しかた

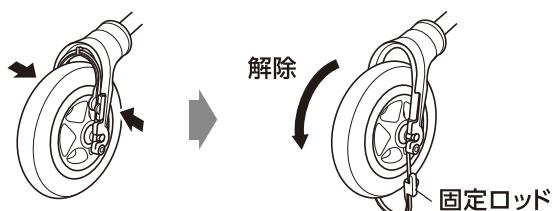
1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 車いすを後方に倒します。

*まわりに人や障害物がないことを確認して、ゆっくり動かしてください。

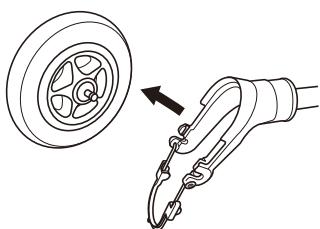


3 キャスターフォークの固定ロッドを両側から指ではさみ、矢印の方向に動かしてロックを解除します。



4 車輪を上に引っ張って、車輪を外します。

*キャスターフォークや車輪の軸に異物があるときは、この時点で取り除いてください。



● 車輪のとりつけかた

△ 危険

「座面の高さ調節」が可能な機種は、車輪を取り付ける際、設定した座面の高さを必ず守ってください。
高さを誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。
(⇒P.20 「キャスターの高さを変える」)

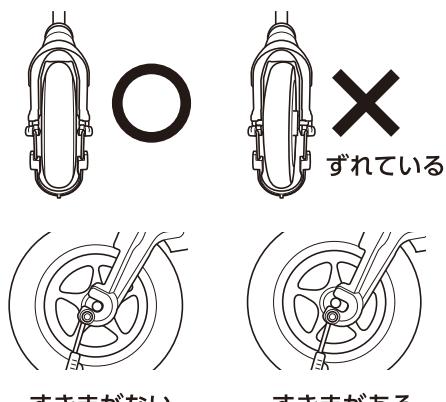
SG-9 SG-9-CZ SG-10 SG-10-CZ



1 キャスターフォークの溝に、車輪を挿入します。

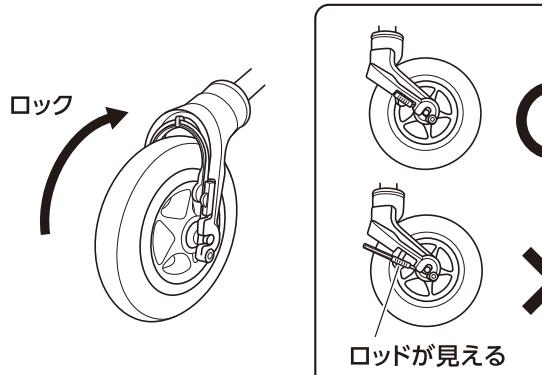
△ 警告

車輪の軸が、キャスターフォークの溝へ確実に奥まで入っていることを確認してください。



2 固定ロッドをもとの位置に戻してロックします。

*車輪を軽く動かして、固定ロッドで確実に固定されていることを確認してください。



3 車いすを元の位置に戻します。

使用上のご注意

保守・点検

乗車前には必ず下記の事項を点検・整備して、常に安全な状態で使用してください。

- * 修理・調整は必ず販売店へ依頼してください。
- ・使用者の脚の長さに合わせて、フットサポートを適切な高さに調節してください。
- ・車いすは熱気、湿気に弱いため、湿気の多い所、屋外、自動車内での長期放置や、水のかかる場所、直射日光の当たる場所には放置しないでください。

● 駐車用ブレーキの作動確認

ブレーキレバーを操作して、ブレーキがかかるかを確認してください。

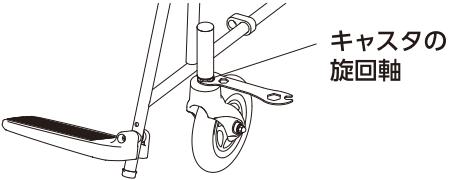
● 各調節部分が固定されていることの確認

各調節部分をチェックして、確実に固定されていることを確認してください。

● 消耗品、交換部品の確認

⚠ 注意	交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。
------	---

- ・それぞれ部品が交換時期を迎えたときは、お早めに交換してください。
新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店へ連絡してください。
- ・ハイポリマータイヤは、表面に溝がない状態やひび割れがみられる状態で使用を続けますと、タイヤ内部に水分が侵食して加水分解を起こして、タイヤの劣化が早まります。お早目に交換してください。

⚠ 警告	キャスターの旋回軸やキャスター・駆動輪(主輪)・ブレーキ、各調節部等は定期的に点検してください。ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
	 キャスターの 旋回軸

消耗品・交換部品

品名	交換時期
駆動輪(主輪)	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
キャスター	表面の摩耗が著しいとき。 しっかり締め付けても車輪ががたつくとき。
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき。 ひどく汚れたとき。 面ファスナーの接着が弱くなったとき。
ワイヤー	ワイヤーにほつれ、錆びが発生したとき。

お手入れ・保管について

● フレームのお手入れ

- ・フレームの汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。拭き取った後は、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。
- ・水などがかかった場合は、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。

● シートのお手入れ

- ・シートの汚れは、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取った後、水で濡らした布で洗剤を拭き取り、その後乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。
- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等が付いた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。
- ・フリースなど毛羽の長い衣服で車いすをご利用になる場合に、車いすのシートと衣服の相性や静電気の影響などによって、シート生地に毛羽が付着することがあります。毛羽が付着した際は、衣服用ブラシなどで付着した毛羽を取り除いてください。

● 樹脂部品のお手入れ

樹脂部品の汚れは、中性洗剤で落としてください。

⚠ 注意	・シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。 ・車いすや各部品を乾かすときは、直射日光をさけて陰干してください。
------	---

使用上のご注意

● タイヤのお手入れ

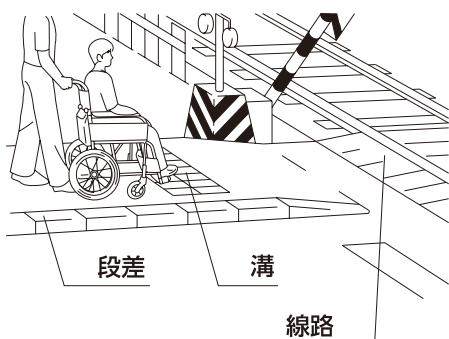
- ・タイヤやリムが汚れた場合は、中性洗剤を使用して擦り洗いをしてください。水に濡れた後は、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。

● 保管・収納について

- ・収納スペースが少ないとときは、座シート、バックサポートを折りたたんで保管してください。
- ・錆やタイヤのパンク、劣化を避けるため、湿気の高い場所や室温が上がる場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

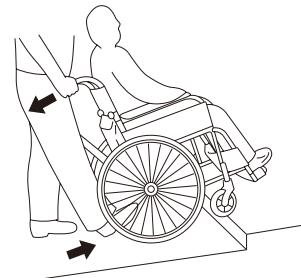
走行上のご注意

- ・車いすは道路交通法上、歩行者として扱われています。車道を通らず、必ず歩道を通ってください。
- ・歩道の段差や凹凸のある路面を走行するときは、前のめりにならないよう十分注意してください。
- ・溝や踏切の線路による落輪、キャスターのはさみ込みには十分注意してください。
- ・踏切を通過するときは、まわりの安全を確認したうえで、停車せず
にまっすぐ通過してください。
- ・傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には十分注意してください。
- ・クッションフロアやフローリングなど床面の材質によっては、ハイポリマータイヤとの相性により車いすを走行させると汚れが付着したり、床面を傷つける場合があります。十分注意してご利用ください。
- ・エスカレーター（車いす対応エスカレーターは除く）や、傾斜のある動く歩道（オーストロープ）での使用は、絶対に行わないでください。
- ・公共交通機関をご利用の際は、係員の指示に従ってください。



段の上がりかた

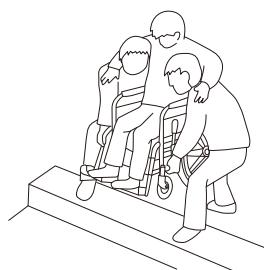
- 1 足元のティッピングレバーを押し出し、手押しハンドルを手前に引くようにして、キャスターを段の上にあげます。
- 2 駆動輪（主輪）を段に突き当て、車いすを押しながら手押しハンドルを持ち上げます。
＊無理な力による段差の乗り越えは、フレームの破損につながります。



車いすに乗ったまま持ち上げる場合

⚠️ 警告

持つ箇所によっては破損や事故につながる恐れがあります。
アームサポート、アームサポートフレーム、背折れジョイント、
フット・レッグサポート、フットサポートなどは持たないで
ください。



車いすに乗ったまま持ち上げるときは2人以上で行い、使用者の上半身を支え、
フレーム下部を両側からしっかりと持ち上げるようにしてください。

段の下りかた

手押しハンドルとティッピング部分で車いすを支えながら、ゆっくり段を下ります。

- ＊無理な力による段差の下りかたは、フレームの破損につながります。
- ＊段差のあるところを下るときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり下ってください。
車いすの破損や故障の原因となります。

困った時には

車いすをご使用されていて「故障かな」と思われましたら、販売店へ連絡するまえに下記項目を確認してください。

症 状	確 認 点	対 処
車いすがまっすぐ走らない。 斜行する。	路面が傾斜していませんか。	低い方へ曲がらないように車いすを操作してください。 〈自走の場合〉 傾斜面の低い側に当たる駆動輪をより強く回してください。 〈介助者が押す場合〉 傾斜面の低い側に当たる手押しハンドルに、より力を入れて押してください。
	車いすは、傾斜面では低い方へキャスターが流れる特性があります。	
	キャスターの回転に左右差がありませんか。 キャスター軸の回転がスムーズですか。	
駐車用ブレーキが効かない。	キャスター・駆動輪（主輪）の計4輪がきちんと接地していますか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
	駆動輪（主輪）のタイヤは摩耗していませんか。	
	駐車用ブレーキのタイヤ押さえが駆動輪（主輪）にきちんと当たっていますか。 駐車用ブレーキがガタついていませんか。	
	タイヤ押さえに変形や摩耗はありませんか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
制動用ブレーキが効かない。	ワンハンドブレーキで左右両側のブレーキがしっかりとかかりますか。	
	SG-5 SG-6 SG-7	
	SG-8 SG-7Hi	
異音がする。	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かったりしていませんか。	インナーワイヤーがスムーズに動くように、ワイヤーチューブの取廻しを修正してください。改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
	ワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
車いすが開かない。	本体や駆動輪（主輪）とオプション品、アクセサリーなどとの干渉はしていませんか。	車いすに取り付けて使用するカバンなどは駆動輪（主輪）など回転する箇所と干渉しないようにしてご使用ください。
	可動部分の錆び・摩耗・汚れ・油きれなどによっておこる摩耗音がしていませんか。	
	ボルト類の緩み等がおきていませんか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
車いすが開かない。	フレームに歪みが発生していませんか。	
	バックサポートの張り具合を締めすぎていませんか。	バックサポートの張り具合を調整してください。

仕様

	CRT-SG-1	CRT-SG-2	CRT-SG-3	CRT-SG-4
フレーム材料	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
シート材料	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC
アームサポートタイプ	固定式	固定式	開閉式（ウイング）	開閉式（ウイング）
アームサポート	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン
サイドガード	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン
グリップ	PVC	PVC	PVC	PVC
バックサポート	スリングシート	スリングシート	スリングシート	スリングシート
背折れ	あり	あり	あり	あり
フット・レッグサポートタイプ	固定式	固定式	開閉式（スイングアウト）	開閉式（スイングアウト）
フットサポート	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式
キャスタ	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング
タイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ
制動用ブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ
ハンドリム	プラハンドリム	なし	プラハンドリム	なし
駐車用ブレーキ	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き

測定項目				
	CRT-SG-1	CRT-SG-2	CRT-SG-3	CRT-SG-4
駆動輪(主輪)径 (inch)	22PU (黒)	14PU (黒)	22PU (黒)	14PU (黒)
キャスタ径 (inch)	6	6	6	6
前座高	435	435	435	435
後座高	410	410	410	410
シート奥行	380	380	380	380
シート幅 ※1	400 (360)	400 (360)	400 (360)	400 (360)
バックサポート高	400	400	400	400
フットサポート・シート間距離	340/360/380/400	340/360/380/400	340/360/380/400	340/360/380/400
アームサポート高	245	245	245	245
全高	880	880	880	880
全幅	550	490	550	490
全長	960	960	960	960
折りたたみ全高	695	695	695	695
折りたたみ全幅	340	270	340	270
折りたたみ全長 ※2	930	835	690 (930)	620 (850)
重量(kg)	10.6	10.1	11.7	11.3

※1 () 内は座シートの寸法です。 ※2 () 内はフット・レッグサポート取り付け時の寸法です。 ※3 シート幅と全幅の寸法は、お買い上げ

静的安定性試験方法 (弊社ではJIS T9201 10.1.2a方式によって試験を行っています。)

キャスタが交換可能な場合、推奨するキャスタ径は上記キャスタ径になります。

駆動輪・主輪のボルトとナットは、インチねじ (UNF 1/2-20山) 仕様になります。

機種名				
CRT-SG-5	CRT-SG-6	CRT-SG-7	CRT-SG-8	CRT-SG-7Hi
アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC
固定式	固定式	開閉式（ウイング）	開閉式（ウイング）	開閉式（ウイング）
ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン
ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン
PVC	PVC	PVC	PVC	PVC
スリングシート	スリングシート	スリングシート	スリングシート	スリングシート
あり	あり	あり	あり	あり
固定式	固定式	開閉式（スイングアウト）	開閉式（スイングアウト）	開閉式（スイングアウト）
軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式
ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング
ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ
サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ
プラハンドリム	なし	プラハンドリム	なし	プラハンドリム
ワンハンドブレーキ 伸縮延長レバー付き	ワンハンドブレーキ 伸縮延長レバー付き	ワンハンドブレーキ 伸縮延長レバー付き	ワンハンドブレーキ 伸縮延長レバー付き	ワンハンドブレーキ 伸縮延長レバー付き

単位mm

機種名				
CRT-SG-5 ※3	CRT-SG-6 ※3	CRT-SG-7 ※3	CRT-SG-8 ※3	CRT-SG-7Hi
22PU (黒)	14PU (黒)	22PU (黒)	14PU (黒)	24PU (グレー)
6	6	6	6	6
435	435	435	435	500
410	410	410	410	475
380	380	380	380	420
400 (360)・420 (380)	400 (360)・420 (380)	400 (360)・420 (380)	400 (360)・420 (380)	380 (420)
400	400	400	400	470
340/360/380/400	340/360/380/400	340/360/380/400	340/360/380/400	395/415/435/455
245	245	245	245	245
880	880	880	880	970
550・570	490・510	550・570	490・510	585
960	960	960	960	1020
695	695	695	695	760
340	270	340	270	350
930	835	690 (930)	620 (850)	760 (1000)
11.1	10.5	12.2	11.7	13.9

げ時に選択したいいずれかの寸法です。モジュール機構はありません。

仕様

	CRT-SG-1-CZ	CRT-SG-2-CZ	CRT-SG-3-CZ	CRT-SG-4-CZ
フレーム材料	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
シート材料	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC
アームサポートタイプ	固定式	固定式	開閉式(ウイング)	開閉式(ウイング)
アームサポート	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン
サイドガード	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン
グリップ	PVC	PVC	PVC	PVC
バックサポート	テンション調整	テンション調整	テンション調整	テンション調整
背折れ	あり	あり	あり	あり
フット・レッグサポートタイプ	固定式	固定式	開閉式 (スイングアウト)	開閉式 (スイングアウト)
フットサポート	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式
キャスター	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング
タイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ
制動用ブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ
ハンドリム	プラハンドリム	なし	プラハンドリム	なし
駐車用ブレーキ	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き

測定項目	CRT-SG-1-CZ	CRT-SG-2-CZ	CRT-SG-3-CZ	CRT-SG-4-CZ
駆動輪(主輪)径 (inch)	22PU(黒)	14PU(黒)	22PU(黒)	14PU(黒)
キャスター径 (inch)	6	6	6	6
前座高	400(430)	400(430)	400(430)	400(430)
後座高	375(405)	375(405)	375(405)	375(405)
シート奥行	380	380	380	380
シート幅 ※1	400/420/440 (360/380/400)	400/420/440 (360/380/400)	400/420/440 (360/380/400)	400/420/440 (360/380/400)
バックサポート高	430(400)	430(400)	430(400)	430(400)
フットサポート・シート間距離	300/320/340/360 (330/350/370/390)	300/320/340/360 (330/350/370/390)	300/320/340/360 (330/350/370/390)	300/320/340/360 (330/350/370/390)
アームサポート高	245(215)	245(215)	245(215)	245(215)
全高	845	845	845	845
全幅	550/570/590	490/510/530	550/570/590	490/510/530
全長	960	960	960	960
折りたたみ全高	670	670	670	670
折りたたみ全幅	320	270	320	270
折りたたみ全長 ※2	920	820	720(920)	610(830)
重量(kg)	12.0	11.5	13.4	12.7

※1 () 内は座シートの寸法です。 ※2 () 内はフット・レッグサポート取り付け時の寸法です。

機種名				
CRT-SG-9	CRT-SG-9-CZ	CRT-SG-10	CRT-SG-10-CZ	CRT-SG-3B
アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC	ポリエステル PVC
開閉式(ウイング)	開閉式(ウイング)	開閉式(ウイング)	開閉式(ウイング)	開閉式(ウイング)
ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン
ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン	ポリプロピレン
PVC	PVC	PVC	PVC	PVC
スリングシート	テンション調整	スリングシート	テンション調整	スリングシート
あり	あり	あり	あり	あり
開閉式 (スイングアウト)	開閉式 (スイングアウト)	開閉式 (スイングアウト)	開閉式 (スイングアウト)	開閉式 (スイングアウト)
軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式	軽量スライド式
ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング
ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ
サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ
プラハンドリム	プラハンドリム	なし	なし	プラハンドリム
引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き	ノンバックブレーキ 引き掛け式トグルブレーキ 伸縮延長レバー付き

単位mm

機種名				
CRT-SG-9	CRT-SG-9-CZ	CRT-SG-10	CRT-SG-10-CZ	CRT-SG-3B
22PU(黒)	22PU(黒)	14PU(黒)	14PU(黒)	22PU(黒)
6	6	6	6	6
410/435/460	410/435/460 (440/465/490)	410/435/460	410/435/460 (440/465/490)	405(445)
385/410/435	385/410/435 (415/440/465)	385/410/435	385/410/435 (415/440/465)	380(420)
380	380	380	380	400
400(360)	400/420/440 (360/380/400)	400(360)	400/420/440 (360/380/400)	400(360)
400	430(400)	400	430(400)	440(400)
300/320/340/360	300/320/340/360 (330/350/370/390)	300/320/340/360	300/320/340/360 (330/350/370/390)	300/320/340/360 (340/360/380/400)
260/280/300	260/280/300 (230/250/270)	260/280/300	260/280/300 (230/250/270)	245(205)
855/880/905	855/880/905	855/880/905	855/880/905	870
550	550/570/590	490	490/510/530	550
960	960	960	960	985
680/705/730	680/705/730	680/705/730	680/705/730	675
340	320	270	270	360
710(920)	710(920)	630(840)	610(830)	725(945)
12.5	14.0	12.0	13.5	14.5

アフターサービス

- ・万一故障の場合は、お買い上げの販売店、または弊社へこの商品の品名および故障状況を連絡してください。
- ・保証期間内の修理につきましては、保証書の提示が必要です。

保証

- ・保証内容につきましては、同封の保証書をお読みください。
- ・保証期間終了後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または弊社へお申しつけください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

製造元



株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

本製品の廃棄につきましては、最寄りの行政担当窓口におたずねください。